

LORC 2005年10月スケジュール

- 6日(木) 「地方行政と参加型地域社会開発 - インドネシア・タカラルモデルの経験から - 」
(LORC は共催団体として参加)
時 間: 9:30 - 12:30
会 場: キャンパスプラザ京都 2F 第1会議室
講 師: Mr. Zainal Abidin (元タカラル県知事、現南スラウェシ州議会副議長)
Mr. Muchtar Samiallah (同県村落開発局職員)
Mr. Muhammad Ikhsan Larigau (NGO ファシリテーター)
赤松志朗 氏 (JICA 国際協力専門員、元 JICA 「スラウェシ貧困対策支援村落開発プロジェクト」チーフ・アドバイザー)
コーディネーター: 河村能夫 氏 (龍谷大学経済学部教授、元 JICA 「スラウェシ貧困対策支援村落開発プロジェクト」国内支援委員長)
- 14日(木) 第2班第4回研究会
時 間: 14:00 - 16:00
会 場: キャンパスプラザ京都 6F 龍谷大学サテライト教室
議 題: 1. 公共政策カリキュラムについて
2. GP についての報告 (第2班研究員阪口先生)
3. その他 (教育・研修システム WG に関する情報交換など)
- 20日(木) 第3班第2回研究会
時 間: 13:30 - 16:00
会 場: 龍谷大学深草学舎紫光館 3F 地域 ORC 会議室
議 題: 1. 第3班研究成果の取りまとめ (出版計画) について
2. その他 (専門職大学院の動向についてなど)

各班活動状況

第1班 RA 辻本 乃理子

東京農工大 COE 地域連携室との連携プロジェクトにおいては、三重県プロジェクトが始動し、三重県総合企画局主催「新しい時代における地域のあり方」検討部会が7月8日に開催されました。当日は三重県内14市町村が参加し、第1研究班より班代表白石教授、副代表新川教授が参加されました。白石教授より「これからの地域政策について (EU の構造政策の事例を踏まえて)」と題した講演

があり、その後質疑・意見交換を行いました。この部会では、「地域の問題、課題の解決に向けて多様な主体による取り組み」を促進する新たな仕組みを検討しています。1班では三重県の地域制度づくりを積極的に支援していきます。その後、8月6日、9月29日にも部会が開催されています。

7月22日「21世紀 COE 『生存科学』論シンポジウム」が東京農工大学小金井キャンパス1号館大講義室にて開催され、パネリストとして班代表が参加されました。

また、8月24日政策デザインWGと1班、東京農工大COEメンバーとともに滋賀県高島市を視察、会合を持ちました。

本年1月に開催されました三重県でのシンポジウムの内容のブックレット化は、現在最後の作業を進めており、まもなく発刊予定です。

今回の1班研究会開催については現在調整中です。

第2班 RA 田村 隆

第二回研究会を7月24日(日)に開催した。そこでは、教育カリキュラムの共通要素の抽出について議論した。今年度は、下記の2つのテーマをメインに研究していくことが確認された。昨年度のRA新井による英国の公共政策系大学院のカリキュラムについての調査を踏まえ、英国の地域公共人材に関係した教育における科目(大学院等)や協定の共通要素の抽出、日本における公共政策系大学院のカリキュラム分析。また、「公共性」について、ブレイン・ストーミング方式を採用し、参加者全員による討論が行われた。この議論は、次回以降継続協議することで合意した。阪口先生によるGPに関する報告は、時間の都合上、次回に延期された。

第3班 RA 田村 隆

** 第3班は現在実質的な研究活動は行っておりませんが、昨年度から継続の活動が多少残っておりますので、昨年度担当RAの田村より報告を致します。*

第一回研究会を7月24日(日)に開催した。そこでは、LORCのブックレット「地域ガバナンスシステム・シリーズ」の第二号(認証評価システムについて)として出版予定の概要について執筆者の坂本先生から説明が行われ、ブックレットの表題や配布先等が協議された。その結果、表題は『公共政策教育と認証評価システム - 日米の現状と課題』に決定し、500部市販、500部LORC引取りが決定した。また、龍谷大学大学院NPO・地方行政コースで開催された講演会(各自治体の首長やNPOリーダー等)の内容がLORCの研究活動に貢献するものと判断し、それを編集したものを今後LORCのブックレットとしてシリーズ化していくことが合意された。(LORC運営会議で提案済)また、第3班の3年間の研究成果をまとめたものを書籍として出版するにあたり、各自の役割分担を再確認し、原稿の締切りとして9月末が合意された。次回の研究会は、10月に予定。

8月下旬に、「地域ガバナンスシステム・シリーズ」の第二号として、第3班の研究テーマである教育研修システムの評価認証に関する研究成果の一部を『公共政策教育と認証評価システム - 日米の現状と課題』(坂本勝編著)として公人の友社より出版されました。

第4班 RA 新井 健一郎

7月23日の第3回研究会では、Norman Uphoff教授に“Measuring Empowerment at Local and Community Levels”という題目のもとご講演をいただいた。empowermentを考えるにあたっては、まずpowerを理論的に把握することが不可欠であるという強い主張に基づいて、powerを脱神話化し、その背後にあるものに目を向けさせる批判的なお話は、LORCの研究にとって非常に示唆に富むものであった。詳しくは、Uphoff教授の論文(‘Analytical Issues in Measuring Empowerment at the Community and Local Level’ in Deepa Narayan (ed.) (2005) ‘Measuring Empowerment: Cross-Disciplinary Perspectives’ Washington, DC, The World Bank, pp. 219-246)をご参照いただきたい。

今回の研究会日程は未定だが、今後は、研究対象国における公共人材育成機関のサーベイと、2007年出版予定の書籍(仮題‘Foundation for Local Governance: Decentralization in Comparative Perspective’)に向けた研究を軸に活動を進めていく予定としている。また、夏季休業中にはその一環として、アフリカ諸国、スリランカなどでいくつかの調査が行われた。

特定研究WG担当RA 朴 重信

8月24日には、政策デザインWGの活動として、滋賀県の高島市視察及び市長・職員との懇談会が開催されました。参加メンバーとしては、龍谷大学LORCの広原先生をはじめとする7人と東京農工大学COEの堀尾先生ら2人の合計9人です。特に、懇談会では、広原先生の提案書の内容に基づき、高島市地域づくりの現状とこれからの計画について意見交換を行いました。10月4日(火)には、広原先生と高島市の海東市長の打ち合わせ会議が行われる予定です。

LORC information

中間報告書を文部科学省に提出しました

オープン・リサーチ・センター整備事業におけるすべてのプロジェクトにその提出が義務付けられている「研究推進状況報告書（中間報告）」ですが、おかげさまで最終期日である 8 月 25 日までに無事提出いたしました。研究員の皆様には、研究成果一覧のご提出をお願い致しましたが、迅速にご対応頂いたおかげでスムーズに作業を進めることが出来ました。改めて御礼申し上げます。

今回の報告書では、過去 2 年間の研究活動を検討し今後の研究方針を再確認することになり、この作成プロセス自体がとても有意義なものとなりました。報告書は研究員の皆様にも郵送にて送付させて頂きましたので、是非御一読下さい。

2004 年度年次報告書が完成しました

作業が遅れておりました 2004 年度の年次報告書ですが、ようやく完成致しました。今回は 1 ボリュームのみ（2003 年度は 2 分冊に分かれていました）で、内容も、構成を見直し各班研究会報告などの形式を統一したことで、2003 年度のものよりも読み易くなっていると思います。研究員の皆様には、上記の中間報告と共に郵送させて頂きましたので、こちらも是非ご覧下さい。

LORC 資料室内文献紹介

皆様からも有益な文献・映像資料などの情報をお寄せ下さい。ご協力宜しくお願い致します。

Daly, J. L. (2005) *Training in Developing Nations: A Handbook for Expatriates*, M E Sharpe Inc.

Narayan-Parker, D. (2005) *Measuring Empowerment: Cross-disciplinary Perspectives (Trade and Development)*, World Bank

Peet, R. and Watts, M. (2004) *Liberation Empowerment: Environment, Development, Social Movements*, Routledge, London

Wastli-Walter, D. (2004) *New Challenges in Local and Regional Administration*, Ashgate Pub Ltd.

Barlow, I. M. (2005) *East Asia Decentralizes: Making Local Government Work*, World Bank

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html

日経グローバル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

掲示板

新聞・雑誌などの記事について

新聞、雑誌などにご自分の記事が掲載された時は、ぜひ LORC 支援室の場 (matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) までお知らせ下さい。こちらでも出来るだけピックアップするようにしていますが、すべてをカバーするのは困難ですので、宜しくお願い致します。

土山先生のアイランド滞在記

アイランドと私(3) ----- メンテナンスマンと私

私の部屋はもともと駐車場なしの物件でした。「部屋・車・ブロードバンド」を生活インフラ獲得目標としていた私としては、駐車場は欲しい。幸運にも、オーナーは同じアパートの駐車場つき物件も持っていて、その住民は駐車場を使っていないとのこと。そこを貸してもらおうことになり、めでたく契約。緊急の連絡先などが入ったメモをもらいます。不動産会社の担当者、オーナー、そしてメンテナンスマン。「彼はたいへんよい人。部屋に問題があったら私(不動産会社の担当者)が彼に相談するといひ」。

契約して1、2週間後、駐車スペースと言われた場所の車止めが起こされていて、鍵がかかっています。おや?他にも、備え付けのテレビの写りが悪い、郵便箱に鍵がないなどあったので、とりあえず不動産会社の担当者に連絡しました。十分後電話がかかってくる。駐車スペースについては、メンテナンスマンが(どうやらそのオーナーの他の物件を借りているのが彼らしい)私以外の人に駐車場が利用されないよう車止めを起こして鍵をかけておいてくれたとのこと。「部屋のテーブルに鍵をおいておくからと言っている」。えっ。なに? 英語にかなり不安がある私は電話口で聞き返しました。部屋のテーブル?どこの?「あなたの部屋のリビングにテーブルがあるでしょう、そこに駐車場の鍵をおいておくから留守にしても大丈夫って。彼は鍵を持っているから」。なに?

マスターキーをオーナーが持っているのはもちろんいい、メンテナンスマンが持っているのもいい...でも、そんなに気軽に留守の部屋に入っているの? 当然のように、しかも仕事で日中いないだろうと想像して親切で、そういう提案がなされることにちょっと衝撃を受ける私。感謝しつつも、待ち合わせの時間を決めて鍵を受け取りました。

しばらくして、再びテレビの写りが悪いことをメンテナンスマンに連絡しました。「24時間以内に電話する」。連絡なし。数日後、こちらから連絡しようかと思いつつ帰宅したら、なんかヘン。あっ、テレビリモコンがリビングの真ん中に!部屋のカーペットに土足で入った土と草の跡が! テレビが直ってる! ありがたいけど、ありがたいけど、来るなら言ってよ~。部屋、あんまりきれいじゃないのに。いや、それ以上に、盗難疑惑やなにやら問題になったことはないの? アイリッシュに聞いてみても、ヘンなことではないらしい。やっぱりアイランドって、「悪い奴はいない」前提でできている。

LORC 研究員のひとこと（紹介）

今月の研究員紹介はお休みとさせていただきます。次回をお楽しみに。

編集後記

今年の夏の旅行は地元学の地、水俣に行ってきました。いろいろ考えさせられるものがありました。リフレッシュもでき、新たな人との出会いもあり、最高の夏休みでした。昨年の英国調査の事例を9月1日日本建築学会大会にて発表させていただきました。ありがとうございました。(N)

朝夕と少し肌寒くなってきました。お体にお気をつけください。(K)

はじめまして。新入RAの韓国の朴重信(パク・ジュンシン)と申します。今年3月に京都大学工学研究科建築学専攻で「韓国の日本人移住漁村」をテーマとして学位論文をまとめました。まず、今回の龍谷大学の地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センターにRAとして参加させていただき、光栄だと思います。主にワーキンググループのことを担当させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。(J)

中間報告と重なったため、本来ならば7月末発行のNewsletterをお休みさせていただきました。夏休みを挟みましたので約3ヶ月ぶりの発行となりました。ようやく秋の気配が感じられるようになりましたね。季節の変わり目ですので皆様お体ご自愛下さい。(T)

LORC Newsletter Vol.13, 7 November 2005

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp (PD 的場) WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>